

トビ(とんび)



福頼橋上空にて

(撮影：桐原佳介)

■その名はブラックカイト
南部町で最も身近な猛禽類、トビ。唱歌「とんび」も有名で小学校でも習う曲なので、呼び名の馴染み度は「とんび」の方に軍配が上がるかもしれません。トビは、アフリカやユーラシア、オーストラリアなどに広く分布しています。日本では普通種です

が、トビが分布していないアメリカのバードウォッチャーが日本でトビを見つけると、とても喜ばれるのです。英語では「ブラック・カイト」黒い凧という名を持つています。ちなみにイギリスのトビの仲間、アカトビはその名の通り「レッド・カイト」と呼ばれています。翼開長は150〜160cmで、人の身長とほぼ同じ大きな飛翔形です。

■クチバシと足の色が…
名前はよく知られている鳥ですが、残念ながら絵本やイラストで描かれるトビは正確に表現されていることが少ないのです。ワシタカの仲間だと、どうしてもクチバシと足の色は鮮やかな黄色だという先入観があります。確かにオオワシやオジロワシなどはその配色です。しかし、トビのクチバシと足の色は灰色なのです。トビのイラストを見る機会がありましたら、このクチバシと足の色をチェックしてみてください。生き物への愛がある作家さんは、ちゃん

とこの色を踏まえてデザインされています。

■「日本書紀」にも
トビは「日本書紀」で戦の時に神武天皇に勝利をもたらしたとされ、古来より日本人の生活と共に生きてきました。時代劇にも音響効果で「びーひよろろろ」という鳴き声もよく使われます。ちょうど今は恋のシーズン。山の稜線上で、雄のディスプレイ飛翔が見られるかもしれません。巣作りに入るのもだいたい2月中旬頃です。巣の場所の記録も集めていますので、発見した方は是非教えて頂ければと思います。



尾羽が三味線のバチ形になっているのが特徴

自然観察指導員

桐原真希

祐生出合いの館【緑水湖畔】

■休館日：毎週火曜日(火曜日祝日は翌日)

■問合せ先：☎66-4755

第15回年賀状版画作品展 2月1日～3月30日

但し2月23日(日)までは、お好みの作品について投票いただく方は入館料が無料になります。町内の小・中学生作品もありますので、是非ご覧ください。

第15回 年賀状版画コンクール 応募作品展 平成26年 2月1日(土)～2月23日(日)



※来館者による投票期間*
平成26年 2月1日(土)～2月23日(日)
投票に参加していただく方は観覧料無料!
抽選で10名様に当館オリジナルグッズを差し上げます。

昨年の大賞作品

アール・ヌーボーの薫り 2月7日～4月6日

祐生蒐集ポスターから、明治・大正時代に流行した優雅な美術様式による作品約30点を展示します。どうぞご鑑賞ください。

